

OTS 第11 回年会でのポスター発表



目で見ると
海外論文発表

堀 真一郎*

Poster Presentation at 11th Annual Meeting of the OTS

Key Words : Antisense Oligonucleotide, siRNA, Ca²⁺ Enrichment of Medium, CEM

<参加会議名> 11th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society

<開催場所> オランダ・ライデン

<渡航期間> 2015年10月10日～10月16日

<発表タイトル> Ca²⁺ enrichment of medium potentiates the effect of various oligonucleotides

Oligonucleotide Therapeutics Society (OTS) は、核酸医薬の分野では世界最大級の国際会議体であり、産学が連携して核酸医薬の研究開発を促進することを目的としています。この度、私は、既存の評価法と比べて、核酸医薬候補品の有効性を正確かつ簡便に評価可能な新規の *in vitro* 評価法を開発し、本学会でポスター発表をさせて頂く機会を得ました。今回、学会が開催されたオランダのライデンは、首都のアムステルダムから電車で40分程度の距離にあり、オランダ最古のライデン大学に象徴されるように、歴史の風を肌で感じる落ち着いた街並みの都市でした。学会会場は、オランダの伝統的な劇場ホールを貸し切って行われ、今年で11回目となった年会においても、アカデミアからベンチャー企業、製薬会社の研究員など総勢400名以上が一同に会し、4日間に渡って、核酸修飾やデリバリーなどの新規技術から核酸医薬品の臨床・非臨床の開発状況まで幅広い演題が議論され、盛況のうちに幕を閉じました。

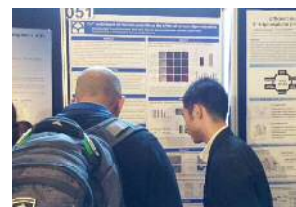
ポスターセッションでは、2時間の発表時間の中で、20人ほどの方々に興味を示していただき、多くの方から、「興味深い」、「是非試してみる」といったコメントを頂きました。また、これまでとは異なる視点での質問、アドバイス等も頂き、自らの研究テーマを客観的に見つめ直す上でも有益な時間だったと感じます。また、今回のポスター発表を通じて、サイエンスの世界では、自らの研究成果を積極的にアピールし、グローバルにディスカッションすることの重要性を改めて知ることができ、大変貴重な経験をさせて頂きました。最後になりましたが、今回の学会発表にあたり、海外論文発表奨励賞に採択いただいた関係者の方々に深く感謝申し上げます。



メイン会場



学会が行われた伝統的な劇場



ポスターセッションの様子

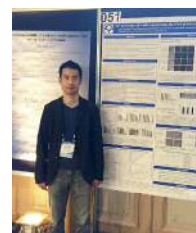


*Shinichiro HORI

1978年3月生
大阪大学大学院 薬学研究科 分子薬科学専攻 修士課程修了(2002年)
現在、大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻 生物有機化学分野 博士後期課程3年 薬学修士 分子生物学
TEL: 06-6879-8202
FAX: 06-6879-8204
E-mail: hori-s@phs.osaka-u.ac.jp



ポスター会場



筆者とポスター



コーヒープレイクでの交流